

利用状況

令和6年度（R6. 4. 1～R7. 1. 31）

【貸出基準】

対象：市内在住、在学、在勤、在園者及び名古屋市名東区、名古屋市守山区、瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市在住者

点数：図書・雑誌・紙芝居 あわせて10点まで3週間 視聴覚資料2点まで3週間

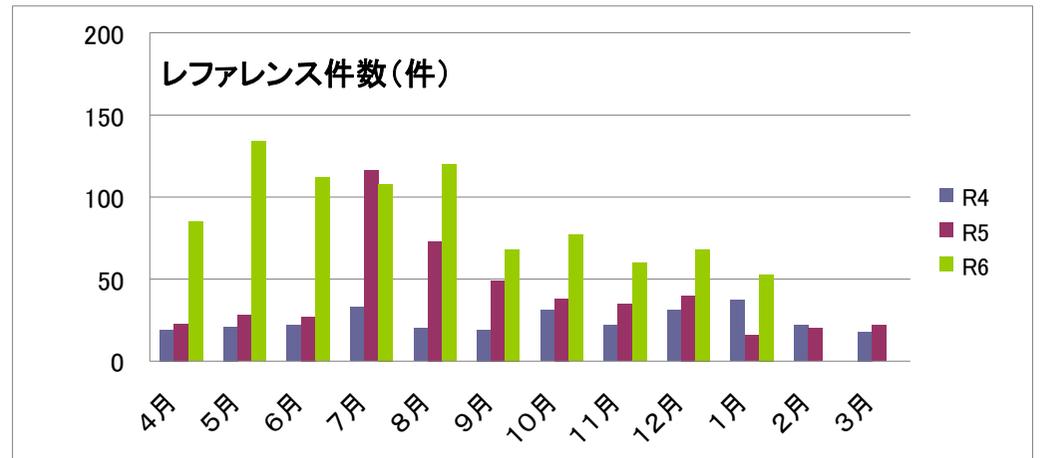
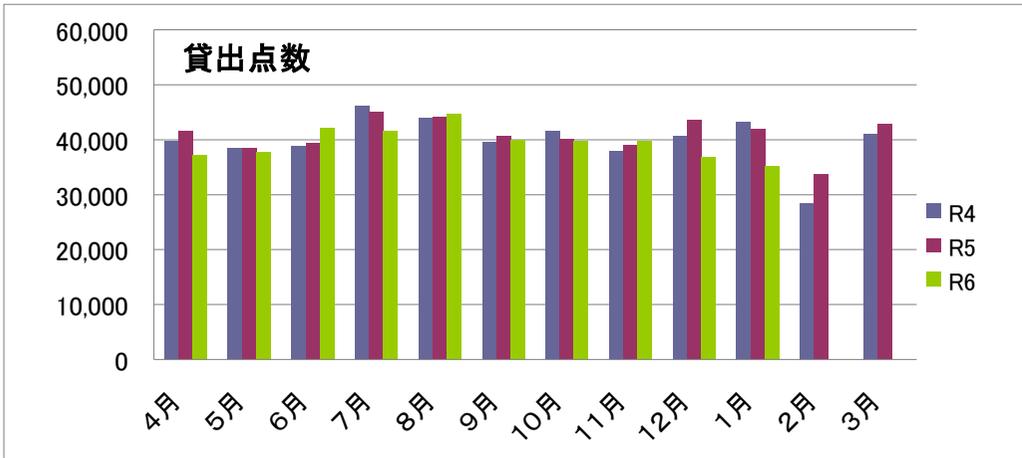
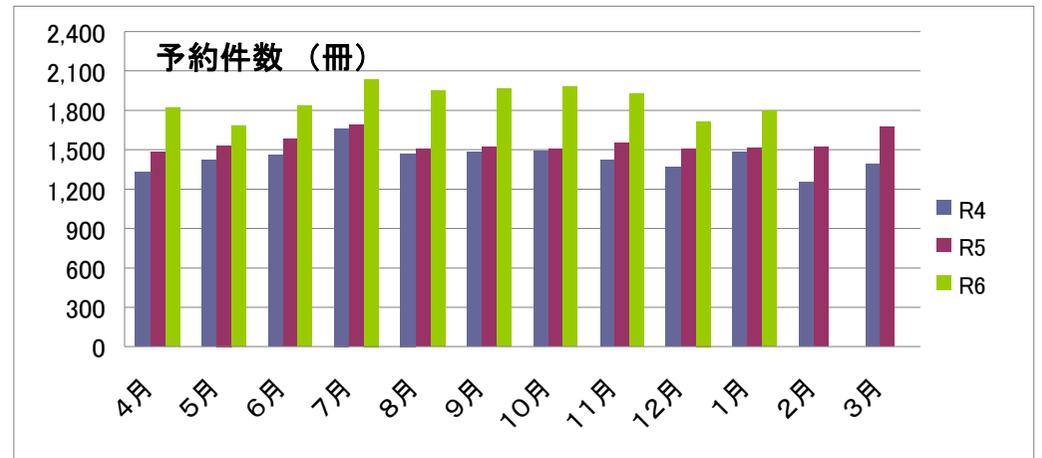
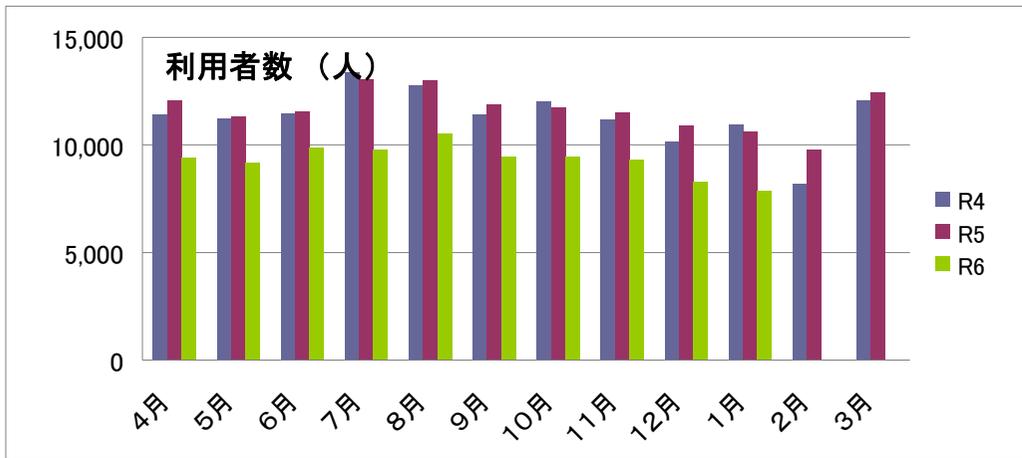
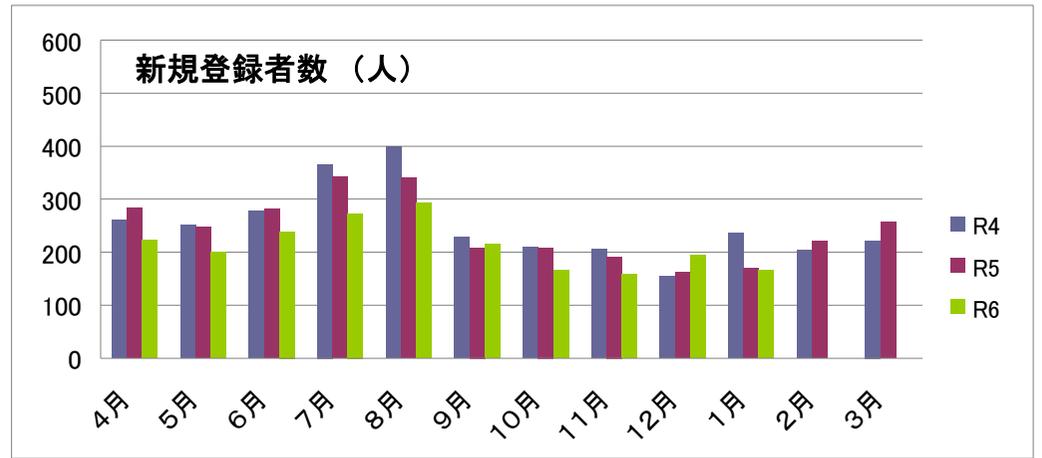
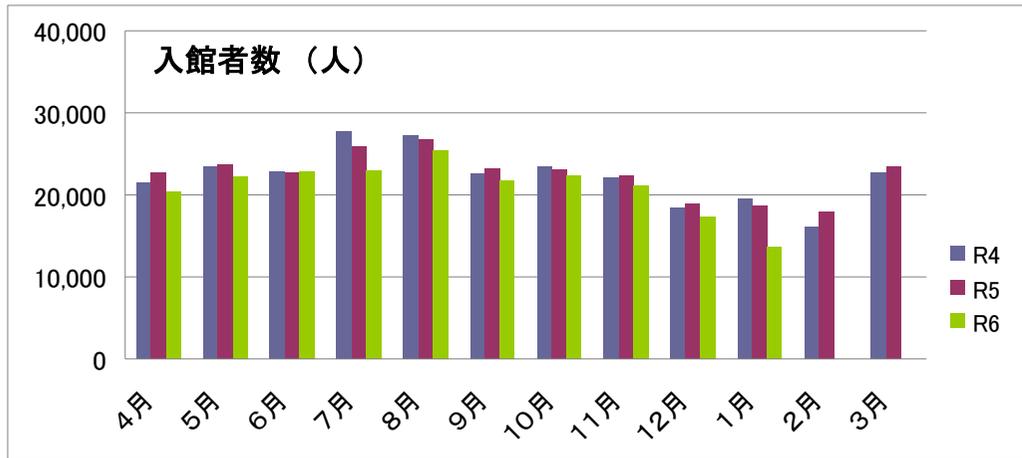
【説明】

・令和6年度から貸出冊数を5冊から10冊に増やし、貸出期間を2週間から3週間に延ばしている。来館し貸出をする頻度が減少したため、入館者数、利用者数や貸出冊数が令和5年度と比べ減少している。

・令和6年度から予約冊数を在住・在勤・在学・在園の方は3冊から6冊に増やしたことにより、令和5年度と比べ24%増加している。

・レファレンスは窓口委託業者がレファレンスカウンター席に常駐し受け付けることができているため、件数が2倍に増加した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	R6年度	R5年度		増減率	
												一日平均	1月末合計	一日平均		
開館日数	24	26	25	25	27	24	26	25	23	15	240		244			
蔵書購入冊数	846	672	630	527	517	870	835	623	734	678	6,932		7,221			
入館者数	20,388	22,254	22,847	22,960	25,416	21,765	22,381	21,079	17,337	13,610	210,037	875.2	228,170	935.1	-6%	
うち5時以降入館者数	1,465	1,711	1,641	1,780	2,048	1,337	1,686	1,398	1,239	959	15,264	63.6	15,807	64.8	-2%	
貸出利用者数	9,395	9,202	9,865	9,810	10,509	9,448	9,451	9,331	8,283	7,877	93,171	388.2	117,649	482.2	-19%	
貸出点数	図書資料	35,145	35,588	39,773	39,379	42,311	37,541	37,418	34,809	33,177	372,522	1,552.2	391,397	1,604.1	-3%	
	視聴覚資料	363	401	452	463	517	498	429	426	352	4,226	17.6	5,269	21.6	-18%	
	紙芝居	293	324	492	442	370	465	432	422	342	3,892	16.2	3,874	15.9	2%	
	雑誌	1,358	1,383	1,473	1,302	1,474	1,430	1,408	1,514	1,293	1,335	13,970	58.2	13,649	55.9	4%
	合計	37,159	37,696	42,190	41,586	44,672	39,934	39,687	39,743	36,796	35,147	394,610	1,644.2	414,189	1,697.5	-3%
新規登録者数	223	200	239	273	293	216	166	159	194	166	2,129	8.9	2,437	10.0	-11%	
予約件数(個人)	1,817	1,682	1,836	2,038	1,952	1,964	1,982	1,923	1,715	1,798	18,707	77.9	15,386	63.1	24%	
A V ルーム	12	17	18	18	14	12	16	14	15	9	145	0.6	149	0.6		
ギャラリー	0	0	0	3	0	0	3	2	0	0	8	0.0	56	0.2		
レファレンス	85	134	112	108	120	68	77	60	68	53	885	3.7	445	1.8	102%	



中央図書館の連携事業



学校連携事業

- ・中央図書館から小中学校へ学校連携司書の派遣
読書案内（読み聞かせ・ブックトークなど）、調べ学習支援他
- ・小学校の学級文庫へ本の貸出（年間約8,000冊）
- ・図書館見学、体験実習生受入
- ・学校連携司書による中央図書館でのブックトーク
- ・おすすめ100冊の図書リスト作成

児童館連携事業

- ・中央図書館から児童館へ本の貸出（各児童館へ200冊ずつ）
- ・中央図書館作成のおすすめ絵本リスト提供
- ・児童館図書室のレイアウト調整の協力

中央図書館



保育園連携事業

- ・中央図書館から乳幼児向け絵本を毎月提供
- ・中央図書館の図書ボランティアによる保育園絵本の修理と読み聞かせ
- ・中央図書館作成のおすすめ絵本リスト提供



その他

- ・放課後子ども教室、児童クラブへ児童書の提供
- ・教育支援センター「N-ハウス あい」へ児童書の提供
- ・共生ステーションへの本の貸出
- ・男女協働参画や認知症など他課と連携した図書テーマ展示協力
- ・高校生作成の本のPOP展示・点訳絵本受入
市内高校の図書館だより閲覧
- ・大学生の実習生受入・イベント時の図書貸出等協力



令和6年度 中央図書館 事業進捗状況管理表

資料2

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	本の修理	良質な状態の蔵書を長く使用したい	破損した本を年間で2,200冊修理する。	1.返却時等の破損確認(毎日・委託職員) 2.修理又は買替の選択、図書データ変更(毎日・委託職員) 3.図書修理ボランティアに修理依頼(毎日・ボランティア) 4.修理完了の確認(週1回・委託職員及び市職員) 5.図書データ復帰、閲覧室へ戻す(週1回・委託職員)	【検証】 修理を必要とする本を回収し、図書修理ボランティアが快適にボランティア活動に取り組むことができるようにするため、図書館職員及び委託職員が修理本回収から修理完成までの一連の流れを支援し、ボランティアと協働で事業に取り組んだ。 【成果】 毎月16人程度のボランティアに定期的に修理を行ってもらい、1月までに1,881冊の修理が完了した。 【今後の課題】 12月に図書修理ボランティアステップアップ講座(初級・上級)を実施した。ボランティアの技術力が上がっており、上級者が初級者に技術伝達し取り組んでいる。ボランティア支援を継続し、技術向上や活動を活性化を目指す。	修理冊数	161冊	163冊	72冊	243冊	203冊	63冊	240冊	245冊	231冊	260冊			教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進 より良い職場環境づくり運動の取組項目
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
2	本の展示の実施	本の魅力を伝える機会が少ない	テーマ展示本の貸出回転率を1.2とする。(展示冊数の1.2倍)	図書館員が企画した展示の実施(委託職員と協働で実施) ・閉架の図書も展示図書に組み込む ・選定したテーマに基づき本を専用スペース等に展示 ・展示本の位置情報の変更入力処理や、人目を引くディスプレイをし、利用者が手に取りやすくなる	【検証】 館内3か所(出入口やカウンターの近く)に展示図書コーナーを設置し、委託業者と協働でテーマに基づいた本を展示した。 設置期間は2か月程度とし、ロングセラー本も含めてテーマに合った展示に相応しい本を選定した。 【成果】 1月までに15回の展示を実施し、うち目標を達成したのは11回だった。閉架書庫の本を多く活用し、開架の目立つ場所に展示することで、通常よりも多く貸し出された。このほか、時事に合わせた不定期な展示やジブリ作品などの常設展示も継続し、貸出につながっている。 【今後の課題】 より利用につなげるための、選書・情報収集能力、時事など社会的な知識のほか、展示やPR技術の更なる向上と充実を図る。	テーマ展示本の貸出回転率(%)	①198%	①280%	①71%	①298%	①623%	①281%					教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進		
						②730%	②225%	②284%	②306%	②366%	②210%	棚24番→	③50%	③63%	③57%				
3	図書館ホームページの充実化	ホームページがわかりにくい	年間閲覧者数を45万人以上とする。	ホームページの更新を年間で60回実施する。(委託職員と協働で実施)	【検証】 ホームページの充実及び利用向上を目指し、ホームページの更新を随時行った。 【成果】 1月末までに合計94回の更新を行い、年間閲覧者数は約41万人となった。新着図書やテーマ展示、おはなし会のお知らせなど、定期的な更新を数多く行った。 【今後の課題】 既存ページの掲載内容やレイアウトなどの見直しを行い、より見やすいホームページを目指す。	ホームページ更新回数	10回	10回	8回	9回	10回	10回	11回	8回	12回	6回		教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進	
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
4	延滞対策事業	延滞本が多い	・月次集計(30日～3年)時点での延滞冊数を70冊以内とする。	1.延滞者に督促はがきを毎週郵送(委託職員) 白色はがき:10日以上30日未満 黄色はがき:30日以上100日未満 2.100日以上延滞者へ封書による督促 3.40日以上延滞者、及び10日以上延滞が10回以上の延滞者は貸出禁止措置後、次回貸出時に職員から厳重注意(マナー説明、イエローカードを渡す、返却日お知らせメール周知) 4.新規登録者に延滞注意喚起と、再貸出・館外返却ポスト・返却日お知らせメールの周知をする(委託職員)	【検証】 昨年度の実績から延滞者数の減少を目標として、延滞者へ窓口での注意、督促はがきや督促電話を通年で実施した。 【成果】 返却を忘れていた利用者に対する早めの督促や、「返却期限日お知らせメール」送信機能の周知を行った。 延滞を繰り返す利用者に対する啓発を、40日以上延滞者と10日以上延滞を10回以上繰り返す延滞者への貸出禁止措置を実施した。 これにより、30日を超える長期延滞者は目標冊数以下にすることができた。 【今後の課題】 督促の頻度を多くすれば延滞者は減少するが、相応の業務量やはがきの郵送にかかる費用は発生するため、より効果的な方策を委託職員と検討・選択していく。	延滞者に督促はがきを毎週郵送(通年)10日以上100日未満											教育振興基本計画 基本施策9「魅力ある図書館づくり」 ①図書館利用の促進		
						新規登録者に延滞注意喚起、返却日お知らせメールを周知(通年)	集計と検証(毎月)30日以上3年未満の合計	23冊	13冊	10冊	14冊	6冊	20冊	18冊	7冊	1冊		5冊	

令和6年度 蔵書点検結果

1 期間

令和7年1月21日（火）から29日（水）まで
（職員週休日を除いた作業実施日数は7日間）

※IC導入により作業実施日数を3日間減らした。（IC導入前の作業実施日数
10日間）

2 作業内容

- (1) 開架・閉架資料すべての書架整理（誤配置本の戻し等）
- (2) 経年等による除籍する資料を閉架から選定し、登録情報の変更入力、2階AVルームにて「除籍」のスタンプ押印
- (3) 点検範囲（開架すべて、閉架の一般書（雑誌含む））の資料を蔵書点検用ペン型スキャナーで1冊ずつ及びIC読取機で約10冊ずつ読み取りし、コンピュータで配架位置、貸出情報等を突合
（対象数：開架閉架合計約16万冊）
- (4) コンピュータ突合結果によるエラー資料の検索及びデータ修正

3 点検整理結果

(1) 不明資料

ア 新規不明冊数	24冊	（昨年度 37冊）
イ 上記の金額換算	31,326円	（昨年度 39,809円）
ウ 新規不明率	0.01%	（昨年度 0.01%）

(2) 除籍

2,823冊（リサイクル図書として無料配布中）

第3次長久手市子ども読書活動推進計画 令和6年度進捗状況一覧

資料4

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和6年度 目標値	実績 (R7.1月末)	達成率 (R7.1月末現在)
1 家庭・地域・学校などにおける取組の充実	家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1	乳幼児期からの読書活動の支援	乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートパック配付人数(年間)	出生数の90%	401人	100%
		2	家庭読書の支援、家読事業の啓発・推進	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。			・年齢別絵本リストの配布やHPへ掲載 ・ぬいぐるみお泊まり会実施	
		3	地域の読書活動の支援	ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。			読み聞かせボランティア11団体への貸出数:609冊	
	中央図書館における子どもの読書活動の推進	1	良質な図書の収集	専門的視点で司書が選定する良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	146,000冊	109,429冊	75%
		2	声かけレファレンス	本をさがしている子ども(保護者含む)へのレファレンスサービスを継続します。			レファレンス件数(総数):885件	
		3	中央図書館がより身近な存在となる事業の企画	子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。			子ども向けテーマ展示を13回	
		4	図書ボランティアとの協働	読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、中央図書館と連携します。			・図書修理ボランティアステップアップ講座(全2回)に15人参加 ・ブックスタート事業読み聞かせボランティア養成講座に12人参加	
		5	児童書の魅力を保護者へ伝えるための企画を実施	定期的におはなし会を開催し、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。			子ども向けおはなし会を78回実施	
	児童館などにおける子どもの読書活動の推進と環境整備	1	中央図書館から児童館などへの図書貸出	中央図書館と児童館などが協働して団体貸出をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。また、本の選定に中央図書館の司書が協力します。	団体貸出(児童館など)	14か所継続	14か所	100%
		2	児童館利用者への本の紹介	児童館などに来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。			年齢別絵本リストの配布やHPへの掲載	
	保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進と環境整備	1	中央図書館から保育園・幼稚園への図書貸出	中央図書館からの団体貸出によって園での読みかせに適した絵本を増やします。	団体貸出(保育園・幼稚園)	6園	6園	100%
		2	保護者などに読書活動の大切さを周知	家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。			年齢別絵本リストの配布やHPへの掲載	
	学校における子どもの読書活動の推進と連携体制の強化・充実	1	学校連携司書による読書案内	学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介します。			市内小中学校に5人の司書が週4日で訪問	
		2	授業等での本の活用	学校連携司書と教職員が連携し、総合的な学習の時間や調べ学習、探求学習など、子どもの自主的、自発的な学習を推進し、学校図書館の利用を促進します。			調べ学習など必要な本を学校と連携して提供	
		3	学校連携司書による企画展示	学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	131,000冊	99,318冊	76%
		4	学校図書館の読書をする環境整備	学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定を学校連携司書と司書教諭が協働で取り組み、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりをします。	年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)	9,650冊	5,163冊	54%

基本目標1「家庭・地域・学校などにおける取組の充実」の達成割合 R7.1月末現在 目標達成・・・ 84%

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和6年度 目標値	実績 (R7.1月末)	達成率 (R7.1月末現在)	
2 子ども読書活動推進支援の一層の充実	1 中央図書館のサービスの充実	1		子どもの発達段階に応じた読書環境づくり	対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気的空間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。		館内整理日や特別整理期間(蔵書点検)に点検等を実施		
		2		中高生向けの図書の充実、読書環境づくり	中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した魅力ある書棚を継続します。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	7,000冊	6,095冊	87%
		3		特別な支援を必要とする子どもへのサービス	点字絵本やさわる絵本などを収集し、特別な支援を必要とする子どもや保護者へ提供します。	バリアフリーの図書(児童)の提供(累計)	180冊	193冊	107%
	2 普及活動の充実	1		読書手帳の普及	読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	560枚	271枚	48%
		2		各施設で読み聞かせイベントなどの実施	読書の大切さを広めるよう「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	2,000人	1,424人	71%
		3		保護者への周知	中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。			図書館ホームページや「児童館だより」で紹介	
	3 各種情報の収集・提供	1		図書情報などの収集・提供	子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。			5種提供	
		2		館内におすすめ本紹介文(POP)掲示	○ おすすめ本の紹介文(POP)を掲示し、子どもの読書のきっかけづくりをします。			中学2年生職場体験で手作りPOPを作成し展示	
		3		図書ボランティアなどの活動を紹介	ホームページなどで図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティア団体の活動紹介数	9団体	9団体	100%
		4		ホームページを通じた情報発信	ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。			・おはなし会やぬいぐるみお泊まり会などのイベント情報を市と図書館のホームページに掲載。 ・年齢別絵本リストやテーマ展示リストを図書館ホームページに掲載	

基本目標2「子ども読書活動推進支援の一層の充実」の達成割合 R7.1月末現在 目標達成・・・ 81%

令和6年度子ども読書活動推進計画 達成度合計 R7.1月末現在 目標達成・・・ 83%

窓口等運營業務委託及び施設管理業務委託について

1 委託業務名 長久手市中央図書館窓口等運營業務委託

- (1) 履行期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日 3年
- (2) 業務委託料 132,858,000円(税込み)
令和6年4月から令和7年3月まで 44,286,000円(税込み)
- (3) 委託業務概要
開館閉館業務、窓口運營業務等一式
ア 令和6年2月から引継ぎを行い、4月からカウンターの委託開始
イ 貸出内容を「5冊2週間」から「10冊3週間」へ拡大
ウ 委託職員数 合計16名(うちチーフ1名、副チーフ3名、司書有資格者合計12名)
エ カウンター窓口業務(レファレンス、利用者新規登録、予約リクエスト等)
オ バックヤード業務(選書終了後の図書受入業務、本のテーマ展示、延滞者への督促、利用統計作成、フロア業務等)
- (4) イベント実施内容(令和7年1月末時点)
別添のとおり

2 委託業務名 長久手市中央図書館施設等維持管理業務委託

- (1) 履行期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日 3年
- (2) 業務委託料 57,816,000円(税込み)
令和6年4月から令和7年3月まで 19,272,000円(税込み)
- (3) 委託業務概要
清掃業務、中央管制装置及び空調設備保守等施設管理業務委託等 一式
- (4) 業務内容(令和7年1月末時点)
 - ・塩ビタイル洗浄ワックス塗布、塗布剥離
 - ・床面洗浄(御影石、陶器タイル)
 - ・カーペットクリーニング
 - ・硝子・サッシ・防煙ガラス清掃
 - ・雑排水槽の清掃
 - ・室内空気環境測定業務

- ・ペストコントロール（薬剤処理及び巡回点検）
- ・自動ドア装置メンテナンス業務
- ・エレベーター保守点検
- ・空調設備保守業務
- ・排煙高窓保守点検
- ・電気設備保守点検
- ・植栽管理
- ・消防設備点検
- ・建物定期調査
- ・防火設備定期点検
- ・小規模修繕（排煙高窓閉鎖処理、消火器取替、火災感知器取替、雨漏り確認緊急対応）
- ・屋外駐車場ロープ等整備
- ・蛍光灯取替

令和 7 年度事業概要

1 事業実施のための計画の位置づけ

(1) 第 6 次総合計画

基本目標 2 子どもが元気に育つまち

政策 3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

- ・子ども読書活動推進事業
- ・読み聞かせボランティア活動推進事業

基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

政策 1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(1) 歴史の次世代への継承

- ・地域資料収集事業

(2) 教育振興基本計画

基本目標 V 生涯を通じた学びの機会提供と支援の充実

基本施策(8) 子どもの読書活動の推進

基本施策(9) 魅力ある図書館づくり

(3) 子ども読書活動推進計画（第 3 次）

基本目標 I 家庭・地域・学校などにおける取組の充実

基本目標 II 子ども読書活動推進支援の一層の充実

2 事業概要

(1) 会議

ア 図書館運営協議会 年 2 回（5 月、3 月予定）

イ 学校司書職員連携会議 年 1 回（7 月）

(2) 図書業務

ア 図書資料、地域資料、逐次刊行物、視聴覚資料等の収集、整理、保存、貸出

イ 蔵書管理

図書の選書、発注、受入、蔵書データの整備など

ウ 利用者サービス

児童・中高生・障がい者向けサービス、レファレンス（資料照会応談）、本の予約・リクエストなど

エ 団体貸出

小中学校、放課後子ども教室、児童クラブ、Nーハウス、地域共生ステーション、児童館、保育園、幼稚園などへの貸出

オ 館内企画展示

自館企画、他課とのコラボレーション企画による特設コーナー

(3) 資料収集計画

ア 図書 約 7,200 冊を収集予定

参考：令和 6 年度図書購入予算 1,700 万円（視聴覚資料費を含む）

(ア) 中央図書館蔵書用

一般書	4,600 冊
児童書	2,150 冊
参考図書	80 冊
郷土資料	40 冊
紙芝居	30 組
中高生向図書	100 冊
計	7,000 冊

(イ) 学校連携及び児童館連携用

団体連携本（主に児童書） 200 冊

イ 視聴覚資料

DVD	5 点
C D	5 点
計	10 点

ウ 雑誌 107 誌

※平成 25 年度から雑誌スポンサー制度を導入

令和 7 年 2 月現在 12 事業者、21 誌

エ 新聞 12 紙

(4) 子ども読書活動推進計画

第 3 次長久手市子ども読書活動推進計画

（対象年度：令和 5 年度から令和 9 年度まで）

【主要な取組】

- ア ブックスタート事業
- イ 中央図書館の読書環境づくり
- ウ 児童館連携事業
- エ 学校連携事業
- オ 保育園・幼稚園の読書環境づくり

(5) 行事

ア おはなし会（図書ボランティア等による）	年 80 回程度
イ 企画イベント	年数回
ウ 講座	年 1 回

(6) 図書ボランティアとの連携

- ア 絵本などの読み聞かせ
- イ 図書資料の修理
- ウ 図書資料の返本、書架整理

(7) 見学・職場体験・実習生

※相手方との調整の上、実施

- ア 小学校図書館見学 各校年1回（3年生）
- イ 中学生の職場体験 各校年1回（2年生）
- ウ 大学生司書課程図書館実習 年1回
- エ 教職員研修 不定期

(8) 広報

- ア 利用案内、図書館カレンダー等の作成、配布
- イ 新刊リストの発行、ホームページへの掲載
- ウ 小学生向け（学年別）・幼児向け推薦書リストの更新
- エ 市及び図書館ホームページへの掲載
- オ 市広報紙への掲載

(9) 一部業務委託

令和6年4月から実施

- ア 窓口等運營業務
- イ 施設等維持管理業務

(10) 図書館システム更新

館内利用者用端末、業務用端末、自動貸出機・返却機、及び付属機器の更新
（出入口ゲートは除外）

10月に実施予定。蔵書点検を同時期に実施し、例年蔵書点検を実施している
1～2月は通常開館とする。

(11) その他

学級文庫組替え（学校連携事業） 3月

第3次長久手市子ども読書活動推進計画 令和7年度目標値一覧

資料7

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和6年度 目標値	実績(R7.1月末)	令和7年度 目標値
1 家庭・地域・学校などにおける取組の充実	1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1 乳幼児期からの読書活動の支援		乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートパック配付人数(年間)	出生数の90%	401人	出生数の90%
	2 中央図書館における子どもの読書活動の推進	1 良質な図書の収集		専門的視点で司書が選定する良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	146,000冊	109,429冊	135,000冊
	3 児童館などにおける子どもの読書活動の推進と環境整備	1 中央図書館から児童館などへの図書貸出		中央図書館と児童館などが協働して団体貸出をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。また、本の選定に中央図書館の司書が協力します。	団体貸出(児童館など)	14か所継続	14か所	15か所継続
	4 保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進と環境整備	1 中央図書館から保育園・幼稚園への図書貸出		中央図書館からの団体貸出によって園での読みきかせに適した絵本を増やします。	団体貸出(保育園・幼稚園)	6園	6園	6園
	5 学校における子どもの読書活動の推進と連携体制の強化・充実	3 学校連携司書による企画展示		学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	131,000冊	99,318冊	120,000冊
2 子ども読書活動推進支援の一層の充実	1 中央図書館のサービスの充実	2 中高生向けの図書の充実、読書環境づくり		中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した魅力ある書棚を継続します。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	7,000冊	6,095冊	7,100冊
		3 特別な支援を必要とする子どもへのサービス		点字絵本やさわる絵本などを収集し、特別な支援を必要とする子どもや保護者へ提供します。	バリアフリーの図書(児童)の提供(累計)	180冊	193冊	200冊
	2 普及活動の充実	1 読書手帳の普及		読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	560枚	271枚	300枚
		2 各施設で読み聞かせイベントなどの実施		読書の大切さを広めるよう「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	2,000人	1,424人	1,700人
	3 各種情報の収集・提供	3 図書ボランティアなどの活動を紹介		ホームページなどで図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティア団体の活動紹介数	9団体	9団体	10団体